

- 期 日：7月31日（月）
- 場 所：原城オアシスセンター
- 参加者：19人

1. 職員の対応

【意見】

台風でカーブミラーの角度がずれたまま2週間ほどたっていたので、まず交通安全協会、警察、振興局に電話し、最終的に平日の5時20分頃、市役所へ電話して守衛さんに取り次いでもらってその部署に見えづらいので危ないと伝えた。

その際「それはうちの部署じゃないけれど、担当に伝えます」と言われたのがっかりした。それは4回目の電話であったから。その一言は不要である。電話対応や接客対応の接遇研修はしているのか。

また、この前の台風で自宅の前の街灯だけ2週間ほどずっと消えていた。そういう、ちょっとした件はどこに言えばいいのか。そういうマニュアル的なものを作ってほしい。

【回答】

職員の対応で不愉快な思いをさせましたこととお詫びいたします。接遇研修を年1回実施しており、各部局でも指導を行っています。その他、部局長会議等でも市長・副市長から接遇の指導の話をしています。職員の接遇については十分注意するようにします。

カーブミラーは総務課で対応していますが、支所の担当でも対応はできます。支所から連絡がありますと、総務課の職員が出向いて確認したりして支所と連携してやっています。

街灯は各自治会の防犯灯と、市が管理する街路灯とあるので、市の街路灯であれば支所または総務課で対応いたします。

2. ごみ収集

【意見】

金属製のゴミ置き場を設置しているが、よくよその家の方が燃えるごみに瓶などの不燃物を入れている場合があって、業者が取り除かれるのはいいが、そのまま箱の上に置いて行かれる。好意で設置しているのに、結局は自分たちで処理しないとイケなくなる。

【回答】

ゴミステーションの上に置かれた不燃物の件は、大変申し訳ありませんでした。南有馬は第1・第3日曜の朝に回収するようにしており、業者との契約により行っていますが、そういう事案があったことは事実ですので、業者に再度、注意・指導をしたいと思います。

不燃ゴミを可燃ゴミに入れているのは見受けられます。4月から始まったばかりであるため、混入防

止を啓発するために、一時的に紙を貼ってステーションの上に置いていました。迷惑をおかけするので、今後はご連絡いただければ回収を含め対応をとりますので、環境課に電話をしていただければと思います。

3. 水道

【意見】

町水についてですが、去年の9月上旬に管が破けたので職員に応急手当をしてもらった。現在10mぐらい管が露出しており、トラクターや車で乗り上げて大丈夫と聞いたが、それから約1年経つ。いつまでそのままにされるのか。各家庭の管ではなく、水道メーターよりも国道側です。

【回答】

申し訳ありませんでした。確認して対応いたします。

【後日回答】

現地を確認し、復旧いたしました。

4. 農業

【意見】

浦田ため池の改修をしているが、耕作者が減って5、6人くらいしかいない。98%は国の補助でできるということでとりかかっているが、自己負担面で苦慮している。水は今までの状態でも余るような感じであるが、老朽ため池であるがために災害時は住民に被害が及ぶとのことで、私たちもその事業を始めた。しかし、やはり個人負担が苦しい。市の予算を組んで耕作者の負担軽減を。

また、一番のネックは不在地主が多いことである。闇小作もいらっしゃると聞いた。負担金の徴収の仕方が難しい。事業費が1億円ということですので、受益者は200万円の負担である。それを各個人に割り振るのに苦慮している。

【回答】

老朽ため池の修繕は受益者負担が2%でありますので、結構な額になるかと思います。受益者が少ない事情は認識いたしました。他の地区との兼ね合いもあり、制度上2%と決まっているのでどうかご理解いただきたいと思います。受益者だけではなく防災面からも整備しなければならないということで、市としても努力します。相談には乗らせていただきますので、よろしくお願いします。

5. 有馬干拓

【意見】

各地で水害が起きている。有馬干拓の排水ポンプが現在2機あるが、干拓の水のみであれば対応でき

るが、60%から70%は干拓外からの流れ込みである。この何年かのうちに市としての考えは、それとも放置されるのか。

【回答】

国道251号よりも以北の水の処理問題は、市政懇談会のたびにお聞きしています。県とも検討しているところです。現在の2機のポンプは、平成18年度から23年度くらいにかけて県の事業として約8億円の事業費で整備しました。追加整備を県に相談したところ、事情は分かるが時期的に国に話をするのはまだ難しいとのことでした。しかし、トマト栽培に多大な支障があり緊急性があるとして、早急に対応するよう県に訴えています。

方策としては建設部とも協議をしていますが、山側からの水は、北岡地区が勾配がほとんどないので、島鉄跡地を利用して有馬川に抜いたらどうかという意見もいただき検討しましたが、高低差がないためできないとのことでした。同じポンプを造るなら、現在の有馬干拓の排水機場に造ってはどうかということで県と意見が一致しています。

なかなか緊急的な対策が現段階ではできない状況ですが、このまま放置するのではなく近い将来なんとか県に検討していただくようにします。

【意見】

有馬干拓の本多仏壇店のところの川に溢れるように水が流れてくる。有馬干拓にもう1機ほしいが、川自体がもたない。そんな中に有馬干拓にだけポンプをつけてもダメだと思う。島鉄跡地の上に入ったん切って調整をして、勾配が取れなかったらポンプをつけるようにした方が安いのではないか。有馬干拓にポンプをつけたら莫大な金がかかる。新たに川を造ればそこにポンプを据えるだけでいい。

県は有馬干拓を主体に考えていると思うが、市は干拓より上を考えていくべきである。そうしないと県がするからといってはいつまでも進まない。思い切って川を造って調整をしてはどうか。

佐賀の排水機場を視察したが、直径2mほどのポンプが35機くらいついている。それを考えると、島鉄跡地の所に川を作ってポンプを1機つけるのは簡単であると思う。今の状態では5～20年かかるのではないか。市でできることは市でやってほしい。費用面は分からないが何らかの方法で早急な対応を。

【回答】

この問題は部内でも話をしています。島鉄線路跡の横にとって排水するというのも1つの方法であると思います。そういう方法もしっかりと検討してみます。

6. 世界遺産

【意見】

原城跡や日野江城跡などでシャトルバスを運行されていたが、利用状況は。今後はどうするのか。また、観光客誘客のためのお土産は考えているのか。

【回答】

シャトルバスの利用者は少ない状況でした。世界遺産登録を想定して運行しましたが、登録が延期となったので、運行の実証実験を終了しました。今後は当然シャトルバスも考えなければいけないと思っています。来年、世界遺産登録を控えていますので、観光客が多くなることを見込んで考えています。

お土産も市が作るものではありません。お菓子屋さんなどの関係者にお話し、市でできる助成があればやりますというお話をしていますが、世界遺産に関連した起業は若干あつてはいるものの、市の顔となるようなお土産には至っていません。関係店舗にお話しをして、市はサポートをしていきます。

7. 防災行政無線（タブレット）

【意見】

聴覚障がいの人に防災のタブレット配布があり、とても便利だと思った。聞こえにくい私たちにも情報がいただけるのは非常に嬉しい。しかしながら、他の聴覚障がい者から、タブレット配布時に健常者の職員のみで説明に来られたと聞いた。聴覚障がい者の場合は、分からないことも「はい、分かりました」と返事をする癖がある。来られる場合は必ず手話通訳者を連れて来てほしい。手話でコミュニケーションをするのが一番安心できるので、ぜひお願いする。

【回答】

この件は布津会場でもご指摘をいただき、その時も配慮不足でお詫びを申し上げました。

私たちは筆談ができるんだろうと思いついていましたが、それが苦手な方もいらっしゃるということも認識しました。大変嫌な思いをされた方もいらっしゃると思い、翌日すぐに担当者とお話しをしました。必ずとはいかないかもしれませんが、手話通訳者をお願いして、日程調整等をして同行したいと思っていますし、再度職員にも周知したいと思います。

8. 有馬商業跡地

【意見】

有馬商業跡地の活用について、サッカー場にするような話を聞いたが、どうなっているのか。できれば布津町のソフトボール場のような、常時サッカーなどの試合が2面でできるような施設をお願いしたい。南島原に利益があるような施設にしてほしい。

【回答】

計画段階ではありますが、サッカーもできる多目的広場の計画をしています。正式に決まったらお知らせいたします。

9. 災害対策

【意見】

避難時に避難者に食糧を準備して来てくださいとのことですが、お年寄りに毛布や弁当を持って避難しろというのは酷である。市で非常食は用意していないのか。

【回答】

自主避難と、避難勧告・避難指示では対応が異なります。後者は毛布や水、非常食を運びます。しかしながら、台風などでの自主避難の場合は、自身で毛布や食料を準備してもらうように呼びかけをしています。

おっしゃることは理解できますが、いざという時のための食糧なので、自主避難時は自身で準備していただくようにしています。どうかご理解をお願いします。

10. 水道

【意見】

水道について、転居届を出した大学生がいて、南島原市内に住民票を戻す際、水道代が上がると言われたが、本当か。

また、前回、石灰分の多さを聞いた際に、基準内で問題ないとの回答であったが、石灰分の多さはどうにかならないか。洗車にも使えないし、電気ポット等もダメになる。南有馬は特にひどい気がする。

【回答】

担当にも確認をしましたが、基準も十分クリアした数値であり、それ以上のことはどうしようもできないので、ご理解をいただきたいと思います。

水道代については、どういった事情だったのかは分かりませんが、今のところ料金を上げる予定もありませんので、何かの間違いではないのかなと思っています。使った量だけ料金がかかるので、家族の人数は関係ありません。

下水道代については、市の水道と自分の家庭用の水道を使っている場合、そういう事態が起きる場合があります。

11. 島鉄跡地

【意見】

島鉄跡地の件で、私は島鉄跡地の近くを100mほど耕作しているが、その線路跡地の草切りに四苦八苦している。耕作者が島鉄跡地も管理しないといけないのか。線路沿いの住民がその管理で苦労しないような有効活用を。

【回答】

跡地活用の詳細は今から検討していかなければいけません。管理はボランティア的にしてもらう部分や、市が直接する部分など、いろいろな方法が考えられますが、全体的には市が管理していかなければならないと思います。

12. 世界遺産

【意見】

原城跡が世界遺産になる前に草刈りをしているが、登録後も草刈りを続けるのか。そして、その費用は市の負担なのか、それとも県や国か。

また、島原半島観光連盟のアンケートで、島原半島の遺跡でどこが一番不便かとの問いに「原城跡」という回答があつて驚いた。規制緩和をしていくべきである。原城跡の入口も、今でさえ渋滞しているので、できれば手前から2車線にしてほしい。もしくは国道から真砂までのバイパス道路を造って渋滞緩和をしてはどうか。国指定でいろいろな規制がかかって難しいからという考えではなく、それを踏まえて何かできないかという考え方を。

【回答】

登録後も草刈りは市の予算で続けます。もう少し原城跡を利用しやすいように規制緩和をとのことですが、史跡である以上は難しいということをご理解ください。

もうひとつは、遺跡調査が行われていないため、いろいろな規制がかかっているという面があります。

調査が終われば一定の規制緩和はできると思います。周辺の必要なところは発掘調査をして確認後、国と協議して規制緩和を図っていくことになると思います。

道路については、構想段階ですがバイパス道路も考えていかなければいけないと考えています。

13. 契約

【意見】

統合してスクールバスでの送迎が行われています。1年に1回入札を実施されているが、聞いた話では前年以上に安く入札しないと落札できないとのことであった。そのしわ寄せは運転手にきている。目は見えない、足は痛いなどといった年配の方が送迎をしている。そういう方に子どもの命を預けるのは怖い。なぜ市が直接、若い方を雇用しないのか。日大高校は1日1万円で雇っているが、それでも働く方はいる。もう一度見直してほしい。

ごみ処理においても運転手が叩かれている。ごみ収集の方も過酷な労働をしている。安心して運転を任せられる人を雇用してほしい。

【回答】

さっそく安全確保のために文書を出そうと思います。スクールバスは委託契約であり、委託業者に運転業務をお願いしていますが、委託であっても運転手の安全確保ができていないようであれば、対応していきたいと思います。

【回答】

ごみ収集の運搬業務は、3年に1回入札にかけて委託契約をしています。入札金額については精査し、適切な入札を行いたいと考えています。

【意見】

3年に1回の入札ということであるが、パッカー車を購入した業者は3年では元を取り戻せない。パッカー車や従業員を手配して入札で落札できなかつたら大変である。最低限の雇用は、ある程度確保すべきである。

【回答】

十分検討していきたいと思います。

14. 世界遺産

【意見】

各地でトイレを新築されているが、いくら外観を立派に作っても、中身がダメであれば台無しである。ウォシュレットが無いトイレはいかかなものかと思う。世界遺産登録でこれから海外からお客が来るのにウォシュレットが無いのは考えられない。高速道路でもウォシュレットは全部ついている。

【回答】

現在、市の庁舎には段階的にウォシュレットを整備しています。公衆トイレ単独ではウォシュレットがついていない状況です。外にある公衆トイレの場合、取り外しができてしまうので、いたずら等の防止のため設置していない状況です。しかしながら、世界遺産登録を考えれば今後、検討していかなければならないと考えています。

15. 世界遺産

【意見】

天草市など多くの観光客がいる場所でウォシュレットを使っていない所はない。いたずらとか何とかを考えては何もできない。世界遺産になるということは誇らしいことである。誇らしい所の人が、いたずらされるからと考えるのはよろしくない。もっと前向きに考えてもらいたい。

【回答】

市内全部の公衆トイレには難しいと思いますが、今後は世界遺産登録も考慮し、十分検討していきたいと思います。

16. 世界遺産

【意見】

原城跡のトイレは不親切である。蛇口を回してもすぐに元に戻って水が止まるので、手洗いができない。ただ形だけ造ったというだけのトイレである。どうかしてほしい。

【回答】

検討させていただきます。

17. 防災行政無線（ラジオ）

【意見】

防災ラジオの放送前の変な音は消せないのか。今のこの世の中、これだけ技術が進んでいるのに消せないのは信じられない。それから、以前のように放送内容の繰り返し放送をしてほしい。

【回答】

防災ラジオの放送前の「キュルキュル」という音は、通常のラジオへの割り込み信号の音であり、担当にも何回も確認しましたが、どうしても消せないとのことですので、どうかご理解をお願いします。

また、繰り返し放送をしていないのは、屋外放送も行っているので、放送自体がうるさいという人もいます。今後、例えば放送のやり方を変えて、内容の放送前に「気象情報のお知らせです」と入れた後、少し間をあけて放送するといったように、その人が聞きたい情報を注意して聞いてもらえるように工夫するか、または、ご指摘のように繰り返しの放送も含めて早急に結論を出したいと思っています。

18. 世界遺産

【意見】

原城跡のトイレは、軒先が短いので雨天時は雨が降り込んで来て手が洗えない。どうかかしてほしい。

【回答】

検討させていただきます。

19. 防災行政無線（ラジオ）

【意見】

多くの方が防災無線の繰り返し放送を望んでいる。その件を総務課に伝えたところ、大事な事は2回繰り返しているという回答であった。1回放送の時は大事でないということか。こういう回答をしているのか。やかましいという人は電源を切ってもらってもいいのではないか。大事な事を聞こうという姿勢の方の要望である。誰が結論を出すのか。

【回答】

重要とかそうではないという表現は適切ではないと思いますので、職員に指導します。緊急放送か一般放送かという表現であればご理解いただけると思います。

聞き漏らした場合は、電話で再度聞けるようになってはいるものの、なかなかそこまではされないと

思いますので、放送を工夫するか、2回放送するかについては、早急に結論を出します。しっかり考えさせていただきます。最終的には総務課で協議し、私が決定します。

20. 自治会交付金

【意見】

今年から自治会活動補助金から自治会活動交付金という名称になり、自治会長・納税組合長に何の説明もなく算定方法が変わった。それに対する批判があった。自治会活動交付金の説明を。

【回答】

自治会長・納税組合長会議では制度の説明をし、その後、詳細について文書でもって説明をしました。金額が昨年度と比較して上下する場合に、上下5,000円以上の差があった場合は下がっても上がっても5,000円までの交付金であることを説明しました。上がる自治会は早く元の金額に戻してほしいとの声がありましたので、その件については今後検討させていただきます。

21. 空き家

【意見】

家の隣に空き家があり、草が生え、蜂もたくさん飛んでいて困っている。自治会長に話し、市に相談した結果、市では私有地についてはどうもできないとのことであった。倒壊や火事がおけると不安であるので、どうすればいいのか教えてほしい。

【回答】

空き家対策については、2年前に法律ができ市でいろいろな調査ができるようになりました。窓口は都市計画課であり、市で行政指導をしています。実際、危険家屋の解体や壁の修理をやってもらっています。

危険家屋以外の敷地の環境面についても対策をするようになっていきますので、環境課と一緒に取り組んでいきます。まずは現地確認をして報告をさせていただきます。

【意見】

前回、市は関係ないとの説明を受けたが、今回、ちゃんとした回答をもらえて嬉しい。